

FUTAMURA CSR REPORT

令和2年度版
フタムラ化学 CSRレポート
2020年4月～2021年3月



フタムラ化学株式会社
FUTAMURA CHEMICAL CO.,LTD.

世界の生活と環境に安心を

フタムラ化学は、産業用資材を主とした事業を展開しているため、消費者の方々からの認知度が高いとは言えないかもしれません。しかし、フタムラ化学の製品は、食品、日用雑貨、医薬品、電気製品、自動車をはじめとする幅広い産業でお使いいただいております。お客様に「安心してお使いいただける製品」を「安定した品質」で「安定的に供給する」ことによって、多くの人々の生活を支える「縁の下の力持ち」としての役割を担っていきたくと考えております。

世界的な環境問題に対する認識の高まりを受け、フタムラ化学においても二酸化炭素の排出量削減や、マイクロプラスチック対策、循環型社会の実現など、環境問題に対する様々な切り口からのご要望に応えるべく、製品開発を進めております。

フタムラ化学は、「社員の生活の安定を第一に考える」という方針のもと事業の安定成長を達成するとともに、社員が安心して働くことができるよう、職場の安全や社員の健康に取り組み、更には地域社会との共存も図ってまいります。



About FUTAMURA CHEMICAL

【フタムラ化学とは】

戦後の祖国再建を願い、設立されたフタムラ化学。

「会社は個人の私物ではなく、社会の公器でなければならない」という創業者の信念を受け継ぎ、

「会社はここで働く人々の生活の安定を守るためにある」という考え方をとりながら、

常に社会の安定・発展に貢献することを目標に掲げるフタムラ化学の、

歴史や理念をご紹介します。



Our History

フタムラ化学の歴史

フタムラ化学は、昭和25年に活性炭を製造するための会社として設立され、「製品を通じて国家社会のお役に立つ」ことを社是として掲げ、その後、セルローズ事業、プラスチックフィルム事業、フェノール樹脂積層板事業、糖質事業、気体分離装置事業と事業範囲を拡大してまいりました。

コア事業のプラスチックフィルム事業では、マレーシアの会社に出資して、日本品質の製品を生産できる工場を設立し、セルローズ事業では、イギリス、アメリカにも工場を持ち、フィルムのグローバルな安定供給体制を整えています。

活性炭事業では、活性炭フィルターや医薬品などの高付加価値品の比率を高めることと並行して、バイオマスエネルギーシステムの開発など、設備分野にも進出いたしました。

フタムラ化学では、会社は株主のものであるという考えではなく、「会社はここで働く人々の生活の安定を守るためにある」という考え方をとっており、目先の売上・利益の拡大に追われるのではなく、長期的な視点で会社の安定を考える風土があります。

約70年前、戦後の焦土と化した名古屋の街を目にした創業者が、「物をつくることにより、祖国の再建に尽くそう」と決意し、フタムラ化学は創業いたしました。会社は創業の精神を将来に伝える器であり、そこに会社の存在意義があると考えています。

「利益のみを追求し儲ければ何でもする会社ではなく、物造りを通じて社会生活に貢献し、働く社員の幸せのための会社」を理念に掲げ、社員の恒久的な生活の安定と、繁栄を生み出すことを企業のもつ使命としています。

これらの考え方は不変であり、今後も物造りを通じて社会に貢献するとともに、社員が安心して働くことができる場を提供してまいります。

フタムラ化学のあゆみ

- 昭和25年 本社活性炭工場
- 27年 岐阜工場(活性炭)
- 30年 大垣工場(セロハン)
- 35年 タイコーテープ
- 42年 名古屋工場(ポリプロピレンフィルム)
- 50年 ツルミコロール
- 51年 名古屋工場(フェノール樹脂積層板)
- 55年 茨城工場(ポリプロピレンフィルム)
- 61年 広島工場(活性炭)
- 62年 大垣工場(ポリエステルフィルム)
- 平成10年 大垣工場(ポリプロピレンフィルム)
- 20年 田原開発センター
- 24年 栃木事業所
- 26年 サイエントックス・バックージングフィルム社
- 28年3月 大垣工場グリーン電力証書受領(以後毎年更新)
- 6月 Futamura ウィグトン工場・テカムセ工場
- 29年 吸着技術工業
- 5月 第3回社会的価値 資本創出型M&A アワード 大賞 受賞
- 12月 地域未来牽引企業選出
- 30年1月 防湿セロハンがバイオマスマーク識別表示適合商品に認定
- 4月 D B J 防災格付け取得
- 6月 第19回物流環境大賞 特別賞受賞 日本物流団体連合会
- 7月 国連グローバルコンパクトへ参加
- 12月 クリーンオーシャンマテリアルアライアンスへ参加
- 31年1月 プラスチックスマートへ参加
- 3月 グローバルコミットメントへ参加 エレンマッカーサー財団
- 令和1年5月 G20に向けた環境大臣意見交換会へ参加
- 2年6月 グローバルニッチトップ100 選認定
- 7月 D B J 環境格付け取得
- 3年4月 食品接触材料安全センター会員登録
- 7月 国際持続可能性カーボン認証(I S C C) 認証取得

Our Businesses

事業紹介

フタムラ化学は、
皆様の生活の向上に役立つ製品の提供や
技術開発を進めるべく、以下7つの事業を行っております。



Cellulose Business セルロース事業

セルロース製品は、バルブや麻などの植物原料から製造されます。セロハンは、主に医薬品や、食品の包装材料として使用されています。

製品
セロハン、ファイブラスケーシング、不織布



Starch Business 糖質事業

天然のでんぷんを原料とし、フタムラ化学独自技術を利用して製造した糖質製品です。特殊な物性を付与することで、これまでとは困難だった分野への利用を実現します。

用途
食品添加剤、可食性・水溶性フィルム



Activated Carbon Business 活性炭事業

木材やヤシ殻などを原料として製造した活性炭を、用途に応じて様々な形状に加工しています。食品・医療分野での脱色精製や、浄水場の水処理など、脱色・脱臭を目的とする工程や用途に幅広く使用されています。

製品・用途
粉末・粒状炭、機能性商品、ガス分離、濃縮装置



Agricultural Business アグリ製品事業

食を支える農業用生産資材です。農作物の品質向上と省エネ効果を実現できます。

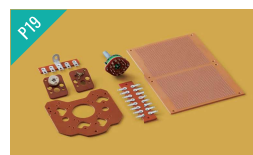
製品
反射シート、保温シート



Plastic Film Business プラスチックフィルム事業

主体は包装用フィルムであり、現代の物流システムに不可欠な物流資材に位置付けられます。食品関係から、身の回りの日用品まで、個包装及び外包装の目的に使用されています。

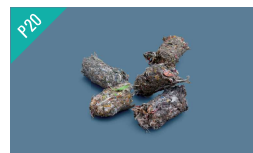
製品
ポリプロピレンフィルム、ポリエチレンフィルム、ポリエステルフィルム



Phenolic Laminated Sheets Business フェノール樹脂積層板事業

紙や布を基材とし、フェノール樹脂を結合材として製造した積層板です。

用途
電子部品・電気機械等の絶縁材、及び構造材



RPF Business RPF事業

紙くず、繊維くず、木くずと廃プラスチックから作られる固形燃料です。化石燃料の代替として利用することで、CO₂排出量の削減に寄与できます。

President's Message

社長ごあいさつ



代表取締役社長
長江 泰雄

フタムラ化学株式会社は昭和25年10月に設立され、令和2年に70周年を迎えることができました。

カラメル脱色用の活性炭の製造から始まり、木材から作る透明紙「セロハン」に代表されるセルロース製品、食品などの包装に使用されるプラスチックフィルム、電気製品などに用いられるフェノール樹脂積層板、幅広い食品に利用されるでんぷん製品、果樹栽培などで利用される農業資材など事業領域を拡大してまいりました。

主に産業用資材を提供しているため、弊社の名前が消費者の目に触れることはあまりありません。しかし、弊社の製品の利用範囲は広く、健康で快適な生活を送ることができる社会を作るインフラとしての役割を担っています。このため、弊社では「安心してお使いいただける製品」を「安定的に供給する」ことを使命とし、それをより高い次元で実現すべく、常に改善に取り組んでおります。

最近ではSDGsに代表されるように、環境や持続可能性に対する

社会的な意識が高まっております。弊社では、太陽光発電所の建設やお取引先様で発生するプラスチックの端材を利用したリサイクル燃料の製造、物流資材の再利用、輸送方法の見直しによる二酸化炭素排出量の削減など、SDGsの達成に向けた取り組みを継続的に進めております。

また、プラスチックフィルム事業では、マスバランス方式などによる非石油由来原料の利用や、リサイクルに向けたモノマテリアル化に適したフィルムの開発、セルロース事業では、植物由来で生分解性を持つネイチャーフレックスの展開、活性炭事業では、バイオメタンの効率的な貯蔵システムや、水素の有効利用のための水素濃縮装置の開発など、各々の事業においてSDGsに対する取り組みに貢献できる製品の生産・開発にも力を注いでおります。

弊社は、これからも皆様の健康で快適な生活を支えるインフラとしての素材の安定供給に努めるとともに、SDGsの達成に向けた取り組みを積極的に進めてまいりますので、皆様のご支援をお願い申し上げます。

Our Philosophy and Vision

フタムラ化学の理念とビジョン

経営理念 (昭和41年制定)

企業経営の理念

1. 人間は働く事が使命である。その使命を達成する場所が、我々としては会社即ち企業である。

2. 企業の持つ使命

企業の持つ使命の重要なもの一つとして、従業員の恒久的な生活の安定と繁栄を生み出さねばならない、これは企業の生み出す利潤によってまかなわれる。そのためには企業そのものが恒久的に安定せねばならない。企業を恒久的に安定するためには、企業を発展拡大することが必要である。現状維持は衰退を導くことになる。即ち企業の恒久的安定と繁栄を確保することは、企業の発展拡大(内容充実を含む)による繁栄が絶対条件である。

3. 人の成長＝企業の成長

人の成長と企業の成長は車の両輪の如く、バランスを保ってゆくことが必要である。人を成長させるためには、人の成長をうながす場所や器がなければならない。その器が企業であり、企業の成長があって人の成長が実現できるのである。

企業の成長しない所には人の成長はありえない。全社員は一隅を照らすものは国の宝である主旨に則り、各々が各自の仕事で成長すべく、努力せねばならない。

成長しない人は落伍者であることを銘記すべし。

4. 和なくして企業の成長は期しえない。不和は企業を破壊する。

基本方針

フタムラ化学は企業経営の理念に基づき、全社協力一致、企業の成長、発展を通じて、人間の成長を達成し、国家社会に貢献することを目的とする。

社是 (昭和28年制定)

1. 常により良いものを造るよう研究努力し、製品を通じて国家社会のお役に立つ。

1. お互いに助け合うことが和の始めであり、人の和が会社発展の基礎であることを自覚する。

1. 無から有を生む考え方に徹し、併せて常に新しい創意工夫に努め、活々として作業する。

1. 何事をも誠実に行なうものが最後の勝者であることを自覚する。

社員心得

1. 能力の持主であること
管理・統率能力の実力保持者たること

2. 誠実な人であること
仕事に誠意をもってあたる

3. 努力する人であること
仕事に全力をつくす人であること

4. 責任のとれる人であること
責任ある仕事をす人であること

5. 協力的な人であること
上司・同僚・部下に協力的であること

VISION

世界の生活と環境に安心を。

フタムラ化学は、企業経営の理念に基づき、全社協力一致、企業の成長、発展を通じて、人間の成長を達成し、国家社会に貢献することを目標としており、お客様に「安心してお使いいただける製品」を「安定した品質」で「安定的」に供給することによって、世界の人々の生活を支える「縁の下の

力持ち」としての役割を担ってまいります。また、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献することによって価値を創造し、当社グループの持続的な成長を実現することを目指しています。

MISSION

環境に最大限配慮しながら、 どんな時でも製品を安定供給し、人々の暮らしを根底から支える。

プラスチックフィルム事業においては、容器包装などから軟包装に切り替えることによるプラスチックの減量化、海洋性マイクロプラスチックの削減、海洋ごみの削減、モノマテリアル化、植物由来原料の利用、リサイクル原料の利用、生分解、水性印刷など、環境配慮に対する様々な切り口があります。主原料を植物由来とするセルロース部門とも連携し、環境に配慮した包装形態を求める顧客に対して、提案できる製品の

開発と提案力を強化してまいります。活性炭事業においては、空気中や水中の汚れを吸着し、生活環境改善や自然環境の保護に重要な役割を果たす活性炭を安定供給するとともに、活性炭の吸着特性を活用したバイオマス由来のメタンガス濃縮・貯蔵、メタンから改質した水素の精製など、循環型社会の構築に貢献する分野へと展開してまいります。

Our Value Creation Model

フタムラ化学の 価値創造モデル

大きく変化する社会に対し、フタムラ化学には創業当初より変わらぬ財産があります。それは、「従業員の恒久的な生活の安定と繁栄を生み出す」を理念とし、どんな時でも安定的に製品を供給する体制を構築していることです。これからも、物造りを通じたフタムラ化学らしい価値創造で、世界の「生活」と「環境」に「安心」を提供し、皆様に信頼される企業を目指してまいります。



製品

CONSUMERS

消費者



人々の生活の衛生を守る

WORKERS

社員



働く人々の生活の安定を守る



従業員懇談会



社内報



役職者会議

ENVIRONMENT

環境



製品も、製造工程も、環境にやさしい



リサイクル/資源ロス削減



生分解性製品



汚染防止

CUSTOMERS

顧客



産業資材を常に安定供給



顧客満足度調査



個別面談



貿詞交歓会/太問会



展示会



お問い合わせ/
アンケートへの応答



プラスチックフィルム
事業



セルロース事業



活性炭事業

7 BUSINESSES



フェノール樹脂
積層板事業



糖質事業



アグリ製品事業



RPF事業

SUPPLIERS

調達先



環境に配慮しながら、
安定的に発注



貿詞交歓会



個別面談

ORGANIZATIONS

業界団体 / 参画団体



業界団体、参画団体との
情報収集・共有



団体が開催する
会合への参加



会報/
メールマガジン

PUBLIC GOVERNANCE

銀行など



情報の透明化



個別面談



銀行説明会

COMMUNITY

地域社会



地域社会との共存



協議会



見学会

Our Businesses

【事業紹介】

食品や日用品などの包装用プラスチックフィルムから、植物由来のセルロースや活性炭まで、人々の生活を支える製品の提供や技術開発を進める、フタムラ化学の7つの事業をご紹介します。



事業概要

人々の生活を支える重要な役割を担うフタムラ化学の製品を、いかなる時であっても安定的に供給するということを使命と考え、セルロース事業、プラスチックフィルム事業、フェノール樹脂積層板事業、糖質事業、気体分離装置事業と事業範囲を拡大しながら、常により良い製品を目指し、弛まぬ研究努力を続けてまいりました。現在、環境問題やSDGsに対する社会的な関心は一層

高まっており、バイオマス由来やリサイクル原料など、より環境負荷の少ない原料を使用した製品に対するニーズが高まっております。フタムラ化学では、海外のグループ会社と連携しながら、各国の環境問題に対応した製品の開発を促進し、プラスチックフィルムとセルロースフィルムの製造を併せ持つ強みを活かしながら、様々なニーズに対応できる製品の提案、提供を行ってまいります。

「太閤ブランド」について

物質のない環境の中、キャラメルづくりに成功したことをきっかけに、太閤製品は生まれました。フタムラ化学発祥の地、名古屋市中村区は、太閤秀吉が誕生した地として知られていることから、フタムラ化学では、製品を「太閤ブランド」と名付けております。

SDGsへの取り組みについて

SDGsは、グローバルな社会問題、環境課題を解決することで持続可能な社会を実現し、人々のQuality of Lifeの向上を目指すものであり、17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。フタムラ化学の事業や取り組みには、SDGsへの多くの貢献実績があります。各事業や、企業全体で取り組んでいるSDGsへのアクションは、合計「232項目」あり、SDGsの全17の目標のうち、11の目標に貢献しています。



TOTAL
232 SDGs Action

| | | | | | | |
|--------------|-------------------|----------------------|------------------|-----------------|-----------------|----------------------|
| 1 貧困をなくそう | 2 気候変動を止める | 3 すべての人に健康と福祉を | 4 質の高い教育をみんなに | 5 ジェンダー平等を達成しよう | 6 安全な水とトイレを世界中に | 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに |
| 8 働きがいも経済成長も | 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | 10 人や国の不平等をなくそう | 11 住み続けられるまちづくりを | 12 つくる責任つかう責任 | 13 気候変動に具体的な対策を | 14 海の豊かさを守ろう |
| 15 陸の豊かさも守ろう | 16 平和と公正をすべての人に | 17 パートナリシップで目標を達成しよう | | | | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

FUTAMURA TOTAL 232 SDGs Actions

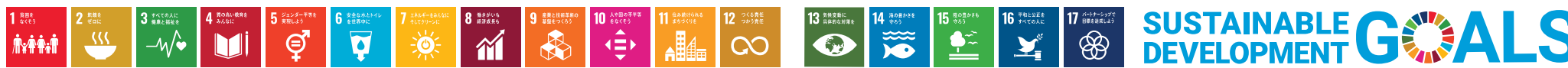


| | | | | | | | | |
|--|--|---|--|---|--|--|---|---------------------------------|
| <p>SDGs 11 17 TOTAL 232 Contents</p> | <p>本社 Head Office</p> <p>SDGs 8 17 SUBTOTAL 26 Actions</p> | <p>プラスチックフィルム 事業 Plastic Film business</p> <p>SDGs 9 17 SUBTOTAL 46 Actions</p> | <p>セルロース事業 Cellulose Business</p> <p>SDGs 9 17 SUBTOTAL 48 Actions</p> | <p>活性炭事業 Activated Carbon business</p> <p>SDGs 8 17 SUBTOTAL 42 Actions</p> | <p>フェノール樹脂積層板 事業 Phenolic Laminated Sheets business</p> <p>SDGs 8 17 SUBTOTAL 32 Actions</p> | <p>糖質事業 Starch Business</p> <p>SDGs 8 17 SUBTOTAL 22 Actions</p> | <p>アグリ製品事業 Agricultural business</p> <p>SDGs 6 17 SUBTOTAL 16 Actions</p> | <p>令和2年度実績</p> <p>SDGs 5 17</p> |
|--|--|---|--|---|--|--|---|---------------------------------|

| | | | | | | |
|-------------------------------------|---|---|---|--|---|---|
| <p>Natural environment 自然環境</p> | <p>3 公衆衛生 作業環境測定</p> <p>7 再生可能エネルギー 太陽光発電</p> <p>7 省エネルギー ハイブリッド車導入、照明LED化</p> <p>13 気候変動対策 ハイブリッド車導入、ペーパーレス会議実施、TV会議実施、照明LED化、モダリティの活用</p> <p>17 パートナースHIP 国産グローバルコンパクト、サーキュラーエコノミー、CLOMA、PS</p> | <p>3 公衆衛生 作業環境測定</p> <p>7 大気汚染対策 排ガス洗浄装置運転、燃料転換</p> <p>7 再生可能エネルギー 太陽光発電</p> <p>7 省エネルギー 省エネルギーモーター設置、省エネルギーボイラー設置、高効率冷凍機設置、照明LED化、定期メンテナンス、燃料転換、緑地化</p> <p>13 気候変動対策 省エネルギーモーター設置、省エネルギーボイラー設置、高効率冷凍機設置、照明LED化、定期メンテナンス、燃料転換、緑地化</p> <p>17 パートナースHIP 原料パレット捕集装置設置</p> <p>17 パートナースHIP ISCC取得</p> | <p>3 公衆衛生 作業環境測定</p> <p>7 大気汚染対策 排ガス処理設備運転、燃料転換</p> <p>7 再生可能エネルギー グリーン電力購入、太陽光発電</p> <p>7 省エネルギー 省エネルギー機器導入、復水発電機運転、廃熱ボイラー運転、再生燃料使用、照明LED化、定期メンテナンス、燃料転換、緑地化</p> <p>13 気候変動対策 省エネルギー機器導入、復水発電機運転、廃熱ボイラー運転、再生燃料使用、照明LED化、定期メンテナンス、燃料転換、緑地化</p> <p>17 パートナースHIP 地域環境協定締結</p> | <p>3 公衆衛生 作業環境測定</p> <p>7 大気汚染対策 排ガス処理設備運転、燃料転換、溶剤触媒燃焼処理装置運転</p> <p>7 省エネルギー 省エネルギー機器導入、焼成炉廃熱利用、照明LED化、モダリティの活用、定期メンテナンス</p> <p>13 気候変動対策 省エネルギー機器導入、焼成炉廃熱利用、照明LED化、モダリティの活用、定期メンテナンス、燃料転換、緑地化</p> <p>17 パートナースHIP 省エネルギー機器導入、照明LED化、定期メンテナンス、燃料転換、緑地化</p> | <p>3 公衆衛生 作業環境測定</p> <p>7 再生可能エネルギー グリーン電力購入、太陽光発電</p> <p>7 省エネルギー 照明LED化、緑地化</p> <p>13 気候変動対策 照明LED化、緑地化</p> | <p>7 大気汚染対策 硫黄酸化物H13年比74%削減</p> <p>7 再生可能エネルギー 太陽光発電0.053Fkwh/年</p> <p>7 省エネルギー 全社省エネルギー使用量前年比3%削減</p> <p>13 気候変動対策 CO2排出量前年比7%削減</p> |
|-------------------------------------|---|---|---|--|---|---|

| | | | | | | |
|----------------------------------|---|---|--|---|--|--|
| <p>People's lives 人々の暮らし</p> | <p>1 環境教育 安全環境報告会開催</p> <p>1 環境未来都市 社会的価値・資本創出型M&Aワード大賞受賞、グローバルコンパクト100へ選出、地球未来牽引企業に選定</p> <p>1 地域貢献 本社周辺の清掃</p> <p>1 組織統治 コンプライアンス憲章制定、品質・安全・環境に関する行動指針制定、安全環境等管理規程運用、DBJ環境格付け取得</p> | <p>1 環境教育 公害防止管理者養成、ISO14001監査員養成、エネルギー管理者養成、危険物取扱者養成、環境講習会参加</p> <p>1 地域貢献 工場周辺の清掃、防音壁設置</p> <p>1 組織統治 ISO14001認証、ISO9001認証、ISO22000認証、省エネルギー委員会運営、環境パトロール実施</p> | <p>1 環境教育 公害防止管理者養成、ISO14001監査員養成、エネルギー管理者養成、危険物取扱者養成、環境講習会参加</p> <p>6 水循環 冷却水再利用</p> <p>6 水資源保護 用水量削減</p> <p>6 汚水処理 排水処理設備運転</p> <p>1 地域貢献 工場周辺の清掃、河川清掃</p> <p>1 組織統治 ISO14001認証、ISO9001認証、ISO22000認証、FSSC22000認証</p> | <p>1 環境教育 公害防止管理者養成、ISO14001監査員養成、エネルギー管理者養成、危険物取扱者養成、環境講習会参加</p> <p>6 水循環 工程排水再利用</p> <p>6 水資源保護 排水</p> <p>6 汚水処理 排水処理設備運転、最終放流監視・警報装置設置</p> <p>1 地域貢献 工場周辺の清掃、河川清掃</p> <p>1 組織統治 ISO14001認証、ISO9001認証、ISO9001認証、省エネルギー委員会運営、環境パトロール実施</p> | <p>1 環境教育 公害防止管理者養成、ISO14001監査員養成、危険物取扱者養成、環境講習会参加</p> <p>6 汚水処理 排水処理設備運転、排水監視・警報装置設置、排水自動開閉式水門設置</p> <p>1 地域貢献 工場周辺の清掃</p> <p>1 組織統治 ISO14001認証、ISO9001認証、FSSC22000認証</p> | <p>6 水資源保護 用水:H13年比25%削減、空室:H18年比69%削減、リール:H20年比72%削減、COD:H18年比18%削減</p> |
|----------------------------------|---|---|--|---|--|--|

| | | | | | | |
|---|---|---|--|--|---|--|
| <p>Products & manufacturing 製品・製造</p> | <p>7 循環社会の構築 廃棄物削減 RPF製造・販売、プラスチック当て回収、再利用、資源化ゴミ分別収集</p> <p>7 化学物質対策 原料調達基準運用</p> | <p>7 イノベーション バイオマス資源の利用、生分解性フィルム</p> <p>7 循環社会の構築 廃棄物削減 工程内ロスの再利用、工程内ロスの転用、資源化ゴミ分別収集</p> <p>7 環境対応製品 非塩素系UVリソフィルム、非塩素系ヒーテールフィルム、食品鮮度保持フィルム、水性印刷対応フィルム、自動車塗膜保護フィルム、モノマテリアルフィルム、バイオマスフィルム</p> <p>7 化学物質対策 排ガス洗浄装置運転</p> | <p>7 イノベーション イオン液体法セルロースの開発</p> <p>7 循環社会の構築 廃棄物削減 工程内ロスの再利用、工程内ロスの転用、資源化ゴミ分別収集、サーマルリサイクルセンター直転、汚泥焼却熱回収</p> <p>7 環境対応製品 植物由来原料の活用、バイオマス認証取得、生分解性防湿フィルム</p> <p>7 化学物質対策 薬品回収・再利用、防湿加工工程廃止、排ガス処理設備運転</p> | <p>7 イノベーション バイオガスから燃料電池までのシステム開発、PFAS分析システム開発</p> <p>7 循環社会の構築 廃棄物削減 活性炭の再生、パイロからの活性炭製造、資源化ゴミ分別収集、梱包材再利用</p> <p>7 環境対応製品 水・空気浄化用活性炭、活性炭フィルター、浄油器、バイオガス濃縮装置、PFAS対応活性炭</p> <p>7 化学物質対策 排ガス処理設備運転、溶剤触媒焼成処理装置運転</p> | <p>7 イノベーション 帯電防止積層板</p> <p>7 循環社会の構築 廃棄物削減 工程内ロスの再利用、工程内ロスの転用、資源化ゴミ分別収集</p> <p>7 化学物質対策 機機能性糖類</p> | <p>7 環境対応製品 農業資材</p> <p>7 循環社会の構築 廃棄物削減 プラスチック当て回収率:62.4%、RPF生産量:2,349t/年、活性炭再生:1,428t/年、廃棄物前年比:12%削減、再資源化率:93.8%</p> <p>7 化学物質対策 PRTR物質前年比39%削減</p> |
|---|---|---|--|--|---|--|



FUTAMURA CSR REPORT
フタムラ化学工業
環境報告
社会報告
令和2年度(2020年)実績
コーポレート・ガバナンス
企業情報

Our Business Model

フタムラ化学のビジネスモデル

事業戦略

- 顧客の持つ課題を解決していく開発力・対応力・提案力を発揮できるよう営業力を磨き、「困った時にはまずフタムラ化学に相談していただく」ように、きめ細かい営業活動を行ってまいります。
- 受注・新版・改版などの情報収集に注力し、物流統括と協力しながら、拠点・営業倉庫の在庫の拡充と在庫管理の徹底による、安定供給・即納体制の更なる充実に努めます。



Plastic Film Business

プラスチックフィルム事業



現代の流通システムに不可欠な
“物流資材”に位置付けられる、包装用フィルム

食品の包装では、「生産者から消費者へ、衛生的に鮮度を保持し、流通ロスを削減する」ことで、人々の生活に大きく寄与しています。さらに、各種産業資材へも幅広く展開され、国民生活の根底を支える資材となっています。これらの点を強く認識し、「安全な品質で、安心して使用されるものを、安定的に」供給することが、フタムラ化学がなせる社会への貢献です。

事業戦略

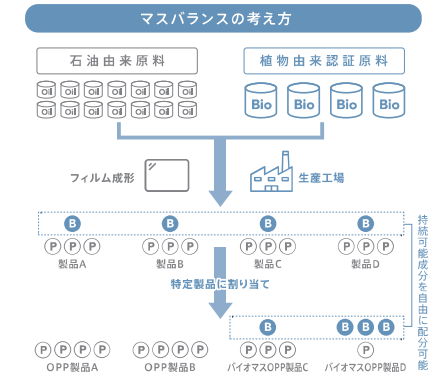
- 顧客の作業環境や品質ニーズの変化を把握し、生産性や作業の改善に繋がる品質の良い製品を、安定且つ迅速に提供することで、市場の期待に応えていきます。
- 海洋ごみ問題、CO₂削減などの環境問題については、国内外の動向、川上・川下の実態把握、要素技術の調査、知的財産対応を進めます。
- 非石油由来原料の採用、モノマテリアル化など、フタムラ化学の設備と経験を活かせる分野の要望に対しては、製造と開発の連携を密にし、スピード感を持って対応します。

製品情報

- 二軸延伸ポリプロピレンフィルム(OPP)**
- パール調グレード
 - ラミネートグレード
 - 難燃グレード
 - コートグレード
 - バリグレード
 - 通気グレード
 - 高品質グレード
 - 二軸延伸フィルム 一般グレード
 - 片面ヒートシールグレード
 - 自己粘着OPPフィルム「FSA®」
 - 両面ヒートシールグレード
 - 防曇グレード
 - マット調(艶消し)グレード
 - 恒久帯電防止OPPフィルム「PAS®」
- 無延伸ポリプロピレンフィルム(CPP)**
- 単体包装グレード
 - レトルドグレード
 - ラミネートグレード
 - 蒸着グレード
- リニアローデンシティポリエチレンフィルム(LL)**
- 超低温ヒートシールグレード
 - 低温ヒートシールグレード
 - 一般ヒートシールグレード
 - 易カットグレード
 - 耐熱グレード
- ポリエステルフィルム**
- 一般グレード
 - 易接着グレード
 - 蒸着グレード
 - 帯電防止グレード
 - 蒸着防止グレード
 - バリアグレード
- 一軸延伸フィルム**
- PE系グレード
 - PP系グレード

具体的な取り組み、成果

再生可能資源を用いたマスバランス(物質収支)方式による、バイオマスプラスチックを使用した食品包装用フィルムの展開を開始いたしました。



Cellulose Business

セルロース事業

地球にやさしい素材

セルロースの原料は、主に木材から作られるパルプです。セルロースは廃棄後に微生物によって水と二酸化炭素に分解されるため、自然から生まれ、廃棄後は自然に戻ることで循環する、優れた環境特性を持つ素材です。



Activated Carbon Business

活性炭事業

活性炭は1gで
1,000~2,000㎡の表面積を持つ特殊な炭

粉末・粒状・繊維状など、様々な形状の種類があり、活性炭はこの大きな表面積を用いて、空気中や水中の汚れを吸着し、我々の生活環境改善や自然環境の保護に重要な役割を果たしています。活性炭をフィルター状に成形した機能性商品も取り揃えており、液体浄化用、気体浄化用など様々なフィルターを提供することができます。



事業戦略

Business Strategy

- ・非石油由来や生分解性に対応したサステイナブルな素材として、市場拡大を進めます。
- ・脱プラスチックの代替素材として、紙と同じくパルプから作られた「透明紙」であるセロハン及び生分解可能なNatureFlexの特徴をアピールし、顧客が行う環境対応商品の開発に貢献していきます。

製品情報

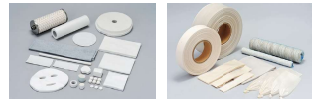
Our Products

ブレンセロハン
透明性が高く、光沢に優れています。また、縦横のカット性が極めて良好で、耐熱性や非帯電性を備えています。



不織布

ファイブラスケーシング

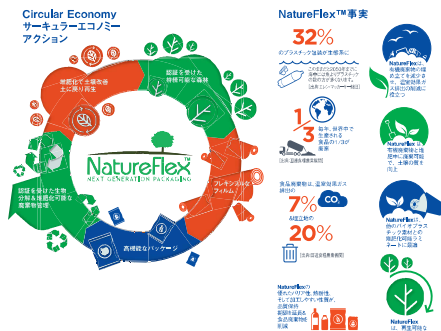


具体的な取り組み、成果

Our Activities and Achievements

NatureFlex™ (ネイチャーフレックス)

堆肥化が可能（コンポストブル）な軟包装素材であるNatureFlexは、サーキュラーエコノミー（持続可能な経済）の実践に優れた一例です。再生可能で自然に優しい資源であるセルロース（管理された森林からの木材パルプ）から作られ、インダストリアルのみならず、ホームコンポスト認証を得ています。NatureFlexは、生まれた時から終わりを迎える時まで、環境への責任を考えた天然由来の製品です。



事業戦略

Business Strategy

- ・各種原料を適切に混合して製品化できることが強みであり、従来配合にこだわることなく、優れた品質の製品開発に取り組んでいます。
- ・脱炭素化社会の実現に向けて、エネルギー関係の市場動向にも着目し、エネルギー貯蔵やメタンの有効利用など、発展性のある分野へ展開いたします。

製品情報

Our Products

粉末活性炭
主にオガコ、ヤシ殻、石炭を原料として生産された活性炭を粉砕し、細かいサイズに調整して使用します。細かい活性炭の為、接触性に優れます。

粒状活性炭
ヤシ殻、石炭を主原料とし、活性炭を粉砕して用途に合ったサイズに調整して使用します。粉末活性炭に比べ大きなサイズに調整されます。液相・気相分形で使用できる、使用用途の幅広い製品です。

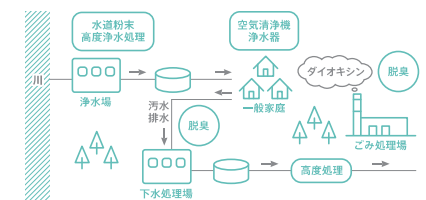
機能性商品（活性炭加工製品）

| | |
|---------------|--------------|
| 太閤®MOF®-Cシリーズ | 太閤®FE・CL |
| 太閤®MOF®-Mシリーズ | 太閤®YJF®、DMF® |
| 太閤®CRF® | 撥水性吸着シート |
| 太閤®KFF® | ガス分離装置 |
| 太閤®UF | |

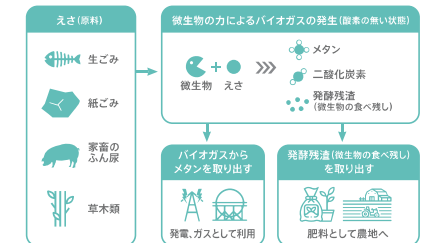


具体的な取り組み、成果

Our Activities and Achievements



食品・医薬品・化学工業分野をはじめ、公共環境事業など、また身近な用途ではフィルター、浄水器など、あらゆる産業分野で広く採用されています。



バイオガスから燃料電池までのシステムは、電気供給が不安定な発展途上国での普及もイメージしています。

Phenolic Laminated Sheets Business

フェノール樹脂積層板事業

電子部品用、電気機械用などの絶縁材料及び構造材料

フェノール樹脂積層板は、その優れた加工性と物理的特長により、幅広く多岐にわたり使用されています。お客様のニーズに合わせた特殊品の開発も積極的に行い、好評を得ています。



製品情報 Our Products

開発品 帯電防止積層板「FL-AS-21」

「FL-AS-21」は、従来手法と組み合わせた新たな製法により、良好な機械特性を維持したまま優れた帯電防止機能を付与しました。

タイコーライト®

・紙基材フェノール樹脂積層板 ・布基材フェノール樹脂積層板

主な使用用途 Main Application

電子部品や車載関連部品、電気機械用の絶縁材料や構造材料として、多岐にわたり使用されます。



Agricultural Business

アグリ製品事業

「食」を支える農業に貢献する生産資材

フィルム、不織布の素材の特性を活かした複合シートで、農作物の品質向上と省エネ効果を実現します。



FUJIMURA CSR REPORT

製品情報 Our Products

光合成促進・反射マルチシート「パールライト®」

着色、糖度など果樹の品質向上を手助けします。光沢白色フィルムの反射層は汚れにくく、雑物クロス層で破れにくい機能性多層シート。落果果樹向け水抜け有孔タイプと柑橘向け水切り無孔タイプがあります。

ハウス内強保温シート「ドリームシート」

環境にやさしい天然素材を活用したハウス被覆材。超吸湿性断熱材で非常に高い保温性。表層が雑物クロスで破れにくく丈夫な多層シートです。

果実保護笠「フルーツのぼうし®」

近年の異常気象から果実を守る丈夫な笠。ホッチキスでとめ、複数年繰り返し使用可能です。ぶどうをはじめ、柑橘、すもも、キウイなど用途は様々、サイズは4種類です。



フタムラ化学とは
事業紹介

環境報告

Starch Business

糖質事業

食品業界に貢献していく、

天然原料を独自の技術で加工した製品

フタムラ化学独自の加工技術を用いてフィルム化に適した特殊加工でんぷんの製造や、可食性フィルムの開発を進め、医薬品フィルム製剤分野への展開を目指しております。



製品情報 Our Products

特殊物理加工でんぷん「エフスマッシュ®」

フタムラ化学独自の物理加工技術により作られた、ユニークな物性のでんぷん製品です。

可食性・水溶性フィルム「キプトケル®」

エフスマッシュを原料とした、可食性・水溶性フィルムです。可食インクの印刷も可能です。



RPF Business

RPF事業

紙くず、繊維くずや木くずなどと

廃プラスチックから作られる固形燃料

RPFとは、「Refuse Paper and Plastic Fuel」の略称。リサイクル燃料として活躍しています。



製品情報 Our Products

マテリアルリサイクルが困難な廃プラスチックなどをRPF化することで、焼却処理または埋立処理されていた廃棄物の量を減らすことができます。また、これを石炭やコークスの代替として利用することで化石燃料の使用量を減らし、CO₂排出量の削減など、地球温暖化防止に寄与することができます。



企業情報

Our Environmental Report

[環境報告]

自然環境への活動

フタムラ化学は、製品のみならず、製品製造工程でも、自然環境に配慮した取り組みを行っています。二酸化炭素の排出削減、化学薬品使用量の削減、再生可能エネルギーの利用、プラスチックリサイクルの推進、バイオマス原料の活用、木材パルプ以外の植物性の物質を用いたセルロースの利用など、循環型社会の構築という目標に向かって、具体的な取り組みを行ってまいります。

重要な環境課題の特定と取組方針

フタムラ化学は、SDGsへの取り組みの一環として、環境課題に関する重要課題を特定いたしました。事業活動における環境負荷低減を通じて、フタムラ化学の成長と社会課題解決の両立を目指した取り組みを進めてまいります。

特定方法 重要課題特定手順



特定した課題と評価結果

| 課題 | 中期目標 | 令和2年度結果 | 評価 |
|-----------|--------------------|---------------|------|
| 温室効果ガス排出量 | 平成28年度基準5%削減 | 平成28年度比12%削減 | 目標達成 |
| 用水量 | 平成28年度基準5%削減 | 平成28年度比0.6%削減 | 目標未達 |
| 化学物質管理 | 二酸化炭素平成28年度基準10%削減 | 平成28年度比11%削減 | 目標達成 |
| 廃棄物管理 | リサイクル率92%以上 | 93.8% | 目標達成 |
| 労働災害 | 前年比半減 | 4件増加 | 目標未達 |

取組方針 品質・安全・環境に関する行動指針（平成18年10月制定）

基本方針

当社は「安心して使用できる製品」を「安定した品質」で「安定的に供給すること」を基本に、製品造りを通して社会に貢献する。「品質・安全・環境」は企業の持つ重要な使命として行動指針を定め真剣に取り組む。

行動指針

- (1) 法規、協定、契約の遵守を最優先し、必要ある時は法規以上の自主管理をする。
- (2) トラブルは起こり得るものとして、未然に防ぐために、それぞれ責任ある対応をする。
- (3) 常に、創意工夫と技術の向上に努め、継続的改善を図る。

(4) 製品の製造・使用・廃棄のライフサイクルにおける品質・安全・環境への配慮に努める。

(5) ISO9001を活用した業務プロセスの継続的改善により、製品やサービスの質の向上を図る。

(6) 適用すべき食品安全や倫理に関する規制・規格、及び業事規制(GMP、GQP)に基づく工程管理を行い、製品の安全性を確保する。

(7) 地域社会の一員としてISO14001を利用した環境改善に継続的に取り組む。

(8) 全社的に労働安全衛生活動を展開し、各人の意識高揚を図り、「ゼロ災害」で職場における安全衛生の確保を目指す。

(9) 地震・風水害・火災に備えて、全社的に防災活動を展開する。

(10) 事業活動を通じて持続可能な社会の構築に貢献する。

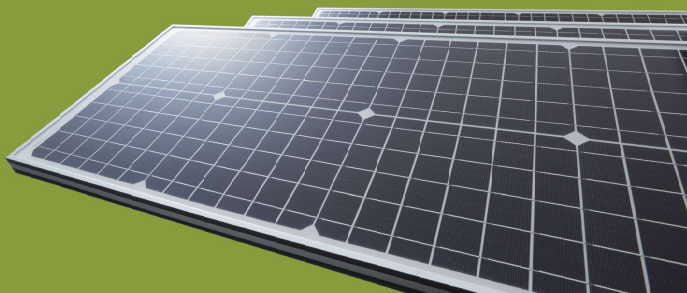
環境管理体制

- ISO14001を利用して、環境改善に継続的に取り組んでおります。
- 安全環境報告会でのレビューや内部監査などを有効に活用することで、継続的に社内の環境改善活動を進めております。
- 当社工場のうち、5工場が第一種エネルギー管理指定工場、2工場が第二種エネルギー管理指定工場となっております。毎年省エネルギー目標を立てて改善活動を展開し、国へ活動状況を報告しております。
- 各工場の遵法管理及び環境事故予防を推進していく人材を育成するため、従業員に国家資格の取得や資格取得後の能力向上教育受講を奨励しております。

Climate Change Mitigation

気候変動の緩和

省エネルギーの推進、
二酸化炭素排出量の削減に
取り組んでおります。



Conservation of Water Resources

水資源の保全

水の使用量を削減し、
製造工程で使用した水を再利用することで
用水量を削減するとともに、排水処理を行い、
排出基準に適合した水質に浄化して排水を行っております。



取り組み内容

Our Initiatives

設備対応

省エネルギーモーター設置
省エネルギーボイラー設置
省エネルギーポンプ設置
焼成炉廃熱利用
高効率冷凍機設置
その他省エネルギー機器導入

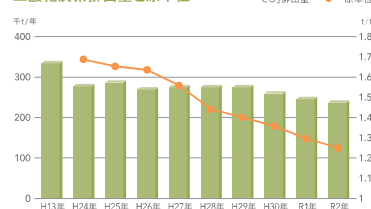
再生燃料使用
燃料転換
廃熱ボイラー運転
復発電機運転
照明LED化
太陽光発電

その他

グリーン電力購入
モーダルシフトの活用
定期メンテナンス
ハイブリッド車導入

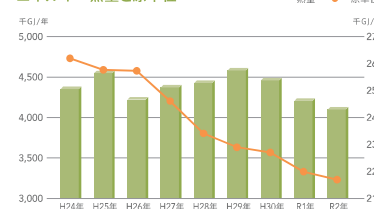
ペーパーレス会議実施
TV会議実施
緑地化

二酸化炭素排出量と原単位



二酸化炭素排出量は、省エネ対策やエネルギー転換を進め、平成13年比29%削減となっております。

エネルギー熱量と原単位



エネルギー使用量は減少傾向にあり、原単位を確実に改善できております。



太陽光発電所



サーマルリサイクルセンター

| | | H28年 | H29年 | H30年 | R1年 | R2年 |
|------------------------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 電力 (千kwh) | 買電 | 212,907 | 207,607 | 205,066 | 195,646 | 191,178 |
| | 太陽光発電 | 4,062 | 4,104 | 4,025 | 4,081 | 4,053 |
| 発生CO ₂ (千t) | 買電 | 106 | 97 | 94 | 86 | 80 |
| | 太陽光発電 | 2.4 | 2.4 | 2.1 | 2.0 | 1.9 |
| 削減CO ₂ (千t) | RPF使用 | 331 | 295 | 287 | 283 | 289 |
| | 再生パレット使用 | - | - | 0.20 | 0.22 | 0.15 |

太陽光発電や化石燃料よりも二酸化炭素排出量の少ないRPFの使用による、二酸化炭素の削減も行っております。

取り組み内容

Our Initiatives

生産活動

工程内排水再利用
冷却水再利用

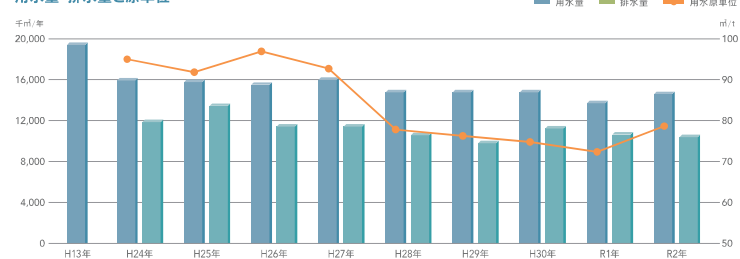
節水

用水量削減

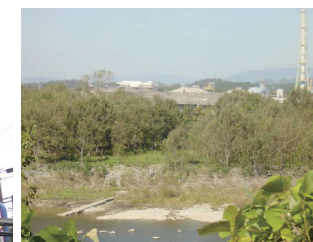
排水管理活動

排水処理施設運転
最終放流監視・警報装置設置
排水監視・警報装置設置
排水自動閉門式水門設置

用水量・排水量と原単位



平成13年度比25%削減。
生産量により変動はあるものの、用水量、原単位ともに減少傾向となっております。



大垣工場、岐阜工場の排水は、浄化後河川に放水できる水質となっております。



Reducing Waste Loss by Resource Recycling

資源循環によるロス削減

製造工程内のロスの削減、または再利用する取り組みを行っています。再資源化可能な物を分別処理することにより、廃棄物としての排出量を低減しております。



Reduction of Chemicals for the Environment

化学物質の削減

化学物質を適切に管理しながら、製品の製造工程で排出されたガスから化学物質を分離回収、分解除去して、排出量の削減に努めております。



取り組み内容

Our Initiatives

生産活動

活性炭の再生
パイロからの活性炭製造
工程内ロスの再利用

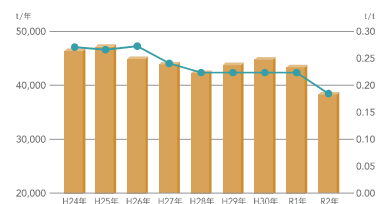
工程内ロスの転用
RPFの製造・販売

その他

汚泥焼却熱回収
サーマルリサイクルセンター運転
プラスチック当て板回収・再利用

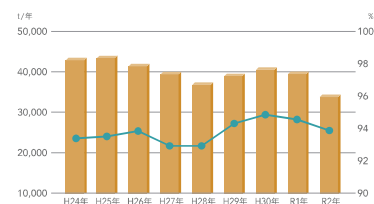
資源化ゴミ分別処理
梱包材再利用

廃棄物発生量と原単位



廃棄物の削減と再資源化を進めており、再資源化率は94%前後で推移しております。

廃棄物再資源化率・率



梱包用当て板洗浄装置

梱包材である当て板の回収・再利用

| | H30年 | R1年 | R2年 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 当て板回収量(枚) | 2,045,391 | 2,063,632 | 2,095,836 |
| 再使用率 | 58.6% | 62.1% | 62.4% |



製品運搬パレット洗浄装置

廃プラスチック等回収量とCO₂削減量

| | H28年 | H29年 | H30年 | R1年 | R2年 |
|--------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| RPF原料(廃プラ等回収量)(t) | 2,086 | 2,052 | 2,410 | 2,512 | 2,349 |
| 二酸化炭素排出削減量(t-CO ₂) | 84.2 | 82.8 | 97.2 | 101.4 | 94.8 |

取り組み内容

Our Initiatives

設備対応

排ガス処理設備運転
燃焼式脱臭炉運転
溶剤触媒燃焼処理装置運転

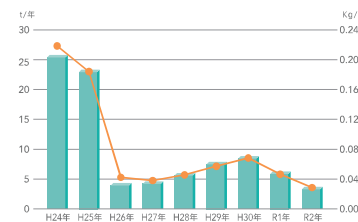
排ガス洗浄装置運転
薬品回収・再利用

その他

燃料転換
作業環境測定

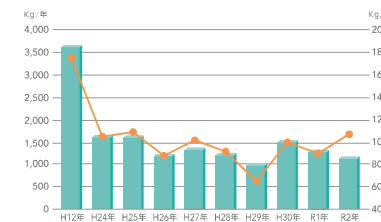
原料調達基準運用
防湿加工工程廃止

PRTR排出・移動量と原単位



二酸化炭素を除いたPRTR排出・移動量は、平成24年度比86%削減となっております。

二酸化炭素排出量と原単位

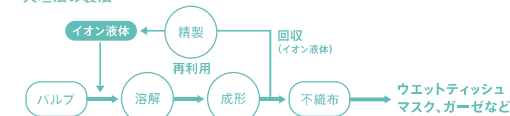


二酸化炭素排出量は、処理設備の設置などを推進したことによって、平成12年度比66%削減となっております。

大垣法とは

パルプを原料に、有害物質を排出しない方法で不織布を量産する技術を世界で初めて実用化しました。2021年度に製造ラインを新設。この製法は、実用化に成功した工場がある岐阜県大垣市にちなんで「大垣法」と命名しております。石油由来のプラスチック製が9割超を占める不織布市場でシェアを拡大し、「脱プラ」に貢献します。

大垣法の製法



従来製法



Prevention of Environmental Pollution

環境汚染の防止

法律等で定められた規制はもちろんのこと、規制基準を超える自主基準に基づいて管理することにより、環境汚染の防止に務めております。

取り組み内容

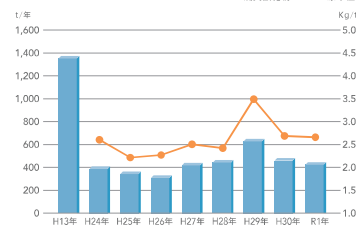
Our Initiatives

設備対応

排ガス処理設備運転
排水処理施設運転
溶剤触媒燃焼処理装置運転

排水監視・警報装置設置
排水自動閉門式水門設置
燃焼式脱臭炉運転

硫酸化物排出量と原単位



平成13年度比74%削減
ボイラーなどで使用する燃料の転換などにより、最近では500 t / 年前後で推移しております。



全室系自動監視装置

排水SS除去スクリーン



排水污泥脱水機

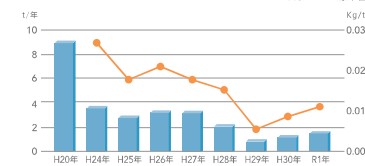
ばいじん除去装置

その他

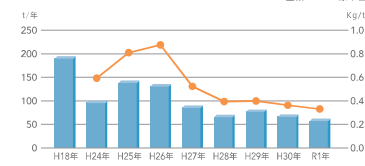
燃料転換
安全環境報告会開催
公害防止管理者養成

ISO14001監査員養成
危険物取扱者養成

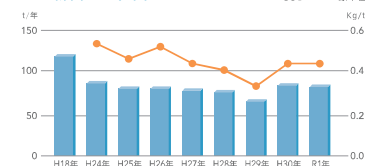
りん排出量と原単位



窒素排出量と原単位



COD排出量と原単位



富栄養化物質の排出量は、減少から横ばいとなっております。

Our Participation in International Initiatives and External Evaluations

イニシアチブへの参画と外部評価



国連グローバル・コンパクト (UNGC)

各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取り組みです。フタムラグループは、持続可能な消費と生産のパターンを確保するための活動などに取り組んでおります。



エレンマッカーサー財団 (グローバルコミットメント)

イギリスを拠点に、世界のサーキュラーエコノミーを推進する組織です。Futamura Chemical UKセルロースフィルム部門は、2025年までにすべてのパッケージ用フィルムで堆肥化可能認証を受けることを目標に、事業活動を行っております。



CLOMA (Japan Clean Ocean Material Alliance)

プラスチック製品の使用がより持続可能となる3Rの新たな取り組みや、代替素材の開発・導入を推進し、官民連携でイノベーションを加速化するため設立された組織です。フタムラグループは、持続可能な3Rの構築と、セルロース素材の開発・利用を行っております。



DBJ環境格付

企業の環境経営度を評点化し、優れた企業を選定する「環境格付」の手法を用いた、世界で初めての融資メニューです。フタムラ化学では、DBJ環境格付を活用した融資を受けております。



ISO規格

国際間の取り引きをスムーズにするために制定する、世界共通の基準です。フタムラグループは、品質9001・環境14001・食品安全22000に関する認証を取得しております。



ISCC

(国際持続可能性カーボン認証)

資源の持続可能性と追跡可能なサプライチェーンの実装を提供する、国際的な認証システムです。フタムラ化学では、ISCC PLUSの認証取得により、持続可能なバイオマス原料の調達に貢献します。



Facilities of FUTAMURA CHEMICAL

フタムラ化学の環境設備紹介

フタムラ化学は、メーカーである以上、大量の水・電気の使用者であるとともに、工程中に様々な廃棄物などを生み出していることは否めません。その事実を深く認識し、古くから環境保護を念頭に置き、多様な対策に着手してきました。昭和44年、岐阜工場にて排水処理施設を導入以来、排ガス、排水などの処理設備を各工場に導入し、ISO14001のシステムを活用して、積極的に環境対策を進めております。

N 名古屋工場



太陽光発電



燃焼式脱臭炉



防音壁

H 広島工場



水ろ過装置



排ガス処理装置

I 茨城工場



ガス発電



太陽光発電

T 鶴見工場



リサイクル水槽



排ガス処理装置

O 大垣工場



サーマルリサイクルセンター

サーマルリサイクルとは

廃プラスチックなどの有機廃棄物を焼却することで発生する熱を、エネルギーとして利用することで、廃棄物の削減、有効利用に貢献しています。



排ガス処理設備(微生物処理)



排ガス処理設備(活性炭吸着処理)

G 岐阜工場



集合煙突



防音壁

Our Social Report

[社会報告]

人々の暮らしへ向けた活動

人々の生活の向上に役立つ製品の提供や技術開発を進める一方、フタムラ化学は、働く社員の健康や安全確保、お客様とのコミュニケーション、地域に根ざす場づくりや活動を大切にしています。



ステークホルダーへの対応

Communication with Stakeholders

Developing an Environment to Provide Healthy and Flexible Lives for Our Employees

社員が、健康で柔軟な生活を過ごすための環境づくり

フタムラ化学は、「ここで働く人々の生活の安定を守る」ために、従業員間の交流の場として社内行事を開催し、全社内、事業所内の組織の活性化を図っています。

取り組み内容

Our Initiatives



マラソン大会



野球大会



卓球大会



社員旅行



消防訓練



衛生講話



自衛隊体験入隊



物造り研修

| | H28年 | H29年 | H30年 | R1年 | R2年 |
|-----------------|------|------|------|------|------|
| 労働災害発生件数(件) | 13 | 20 | 13 | 14 | 18 |
| 4日以上休業災害発生件数(件) | 0 | 6 | 5 | 3 | 8 |
| 休業度数率(%) | 0 | 2.3 | 2.8 | 1.4 | 2.7 |
| 障がい者雇用率(%) | 1.9 | 2.2 | 2.3 | 2.3 | 2.2 |
| 定年者再雇用率(%) | 100 | 100 | 91 | 100 | 100 |
| 有給休暇取得率(%) | — | 63.0 | 65.8 | 75.3 | 52.4 |
| 育児休暇取得者(人) | 25 | 29 | 23 | 20 | 20 |

全社で働き方改革に取り組み、有給休暇を取得しやすい雰囲気づくりや、週に一度の「ノー残業デー」の設定など、従業員が心身をリフレッシュし健康に働ける職場を目指しています。労働災害につきましては、リスクアセスメントなどを活用してゼロ災害に向けて取り組んでいます。コンプライアンス相談件数は1件で、コンプライアンス規程に基づき適切に対応いたしました。



Creating Opportunities to Communicate with Our Customers

お客様とコミュニケーションする機会を創出

お客様との円滑なコミュニケーションを図るために、展示会への出展や、お客様への満足度調査などの取り組みを行っています。

取り組み内容

Our Initiatives

展示会



買客交流会



太閤会



顧客満足度調査を実施

●14回を迎えた前回の調査は、162社、247名の回答を得ることができました。回答率は3年連続で100%を達成し、引き続き製造現場の方々からの回答もいただいております。

●今後も、満足度向上を目指すためには、引き続き「安心して使用できる製品」を「安定した品質」で「安定的に供給する」ことを絶やさず、レベルアップし続けることが肝要であり、設備・工程管理による品質水準の底上げに加えて、営業・物流との連携を強化し、価値ある製品の供給を図ってまいります。



Live and Work Together to Improve Community Lives

地域の人々と共に目指す、地域の生活向上

工場周辺の清掃や、工場見学会の開催など、地域に根ざした場づくりや活動を行いながら、地域環境の向上を目指します。

取り組み内容

Our Initiatives

高校生との意見交換



小学生による職場見学



小学生を招いての勉強会



工場周辺の清掃



河川の清掃



令和2年度トピックス

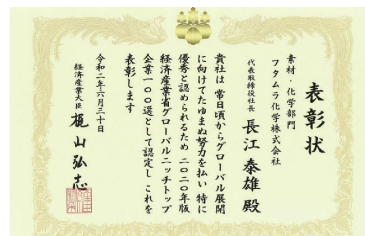
各事業における、本年度の取り組み実績をご紹介します。



フタムラ化学の環境への取り組みを、お客様だけでなく、消費者の方々にも伝えていけるよう、封筒広告を行うこととなりました。



ポディペーパーの商品パッケージに「天然パルプ100%」と記載することで、環境に優しく、拭き心地も気持ちの良い商品として、リニューアルされました。



グローバルニッチトップ企業100選に選定されました。国際市場において極めて高いシェアを確保し、良好な経営を実践している企業を経済産業省が認定する制度です。定義として、提供する製品サービスの市場規模が100~1000億円で、3年間の内1年でも20%以上(中小企業は10%以上)の世界シェアを確保したことがあるという企業の中から、収益性・戦略性・将来性・品質などを厳正に審査して選ばれます。



環境格付けの3段階評価のBランクを取得いたしました。評価項目として、環境マネジメント体制、環境に配慮した製品・サービスの提供、資源有効利用の状況、環境重要課題への取り組み状況などがあり、フタムラ化学は、経営理念、品質・安全・環境に関する行動指針、全社運営方針を念頭に、各工場のISO14001に関する取り組みを評価していただいております。



溶解



成形

植物由来の原料から様々な製品への成形が可能



【例】塩(NaCl)の融点は約800℃。イオン液体は常温でも写真のように液体 ※イオン液体:幅広い温度で液体として存在する塩

「大垣法」では、イオン液体を用いることで、エネルギー使用量の削減、環境負荷の低減など多くのメリットがあり、持続可能な社会構築のための次世代のプロセスとして、フタムラ化学が世界に先駆けて商業化を行います。



令和3年1月に、大垣共立銀行保証付私債券を発行しました。本私債債価は、大垣共立銀行の地域応援私債券「拍手喝唄」という商品で、社債発行手数料の一部で物品寄贈品を購入し、会社が指定する地域の学校や団体などに寄贈することで地域社会に貢献するというものです。



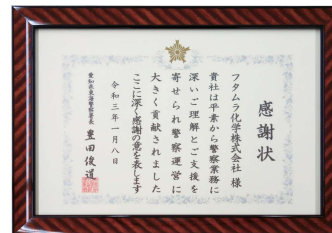
グリーン電力証書が交付されました。大垣市では、エネルギーの地産地消を目指すため、各家庭に設置された太陽光発電設備で発電された電力のうち、自家消費された電力の「環境価値(グリーン電力)」を買い取り、市内の事業者を対象に証書化して販売しています。フタムラ化学では、平成28年から継続してグリーン電力を購入しています。大垣市産のグリーン電力は、フタムラ化学を含め大垣市内6社に販売されました。



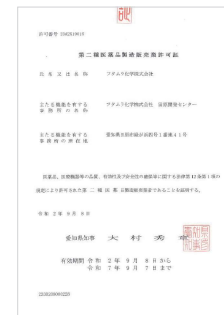
既存の社有独身寮「大岡寮」の老朽化を考慮し、稲西町に地上3階建て全30戸のワンルーム独立型の独身寮「センタラ 稲西」を建設しました。



NHKで放送中の番組「所さん!大変ですよ」の企画内で、広島工場はモーダルシフトした企業として取材を受けました。



田原開発センターの特殊でんぷん製品「エフスマッシュ」が、愛知県警察の科学捜査へ利用され、警察運営に大きく貢献したとして、表彰を受けました。



令和2年1月27日付で取得した医薬品製造業に続き、令和2年9月8日付で第二種医薬品製造販売業許可を取得いたしました。

Our Corporate Governance

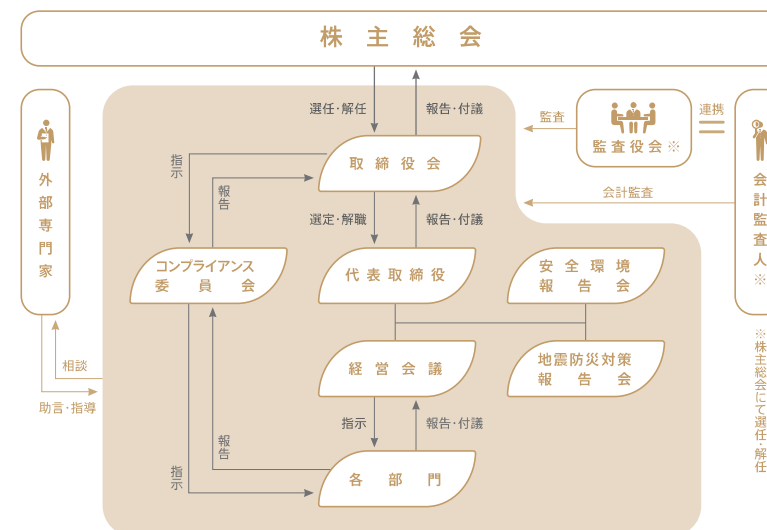
【コーポレート・ガバナンス】

フタムラ化学は、持続的な企業価値の向上のため、経営の基本方針や業務執行の監督、コンプライアンス体制及び、リスクマネジメント、安全環境に関する重要な課題への対応を行う内部体制を強化し、様々なステークホルダーとの協働による、ガバナンスの強化・充実に取り組んでいます。

コーポレートガバナンス体制

「法規、協定・契約の遵守を最優先し、必要ある時は法規以上の自主管理をする」という行動指針に則った事業活動を行うために、全社を横断的に見ることのできる体制を整えることで、課題の早期発見に努め、問題が発生した場合には速やかに関係者へ伝達し、対処しております。

体制



安全・環境・防災・製品安全問題については、安全環境報告会、地震防災対策報告会において社長、安全環境担当役員、安全環境管掌役員、安全環境部、各事業場長、各事業場の安全・衛生・環境・防災担当者が出席して、取り組み状況報告・遵法管理報告・レビューなどを行って、遵法管理、予防措置、改善活動に活かしております。

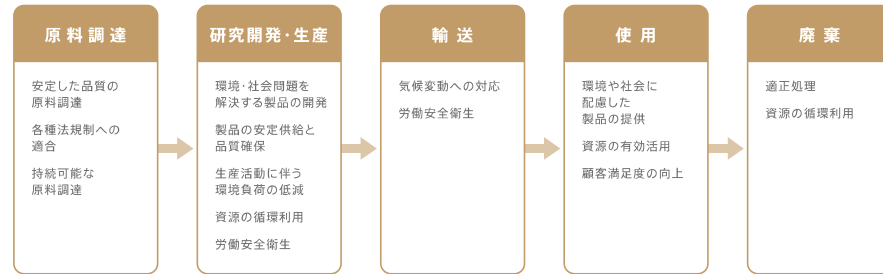
役割

| | |
|----------------------|---|
| 取締役会 | 経営の基本方針や重要な業務執行を決定するとともに、執行を監督します。 |
| 監査役会 | 内部統制の体制と運営状況を監視し、業務監査と会計監査を通して、取締役を含めた経営の日常的活動を監査します。 |
| 経営会議 | 経営に関する重要事項について審議・決裁を行います。 |
| コンプライアンス委員会 | コンプライアンス憲章を制定。コンプライアンス委員、コンプライアンス推進責任者を選任し、コンプライアンスの推進を図っております。 |
| 安全環境報告会 地震防災対策報告会 | 取締役、監査役出席のもと、安全・環境・防災・製品安全に関する重要な課題への対応を一貫して継続しております。 |

バリューチェーンマネジメント

製品を製造するための原料調達から、研究開発・生産、輸送、使用、廃棄に至るまで、全ての工程において環境に配慮しながら、お客様の手に製品を安定供給することが、フタムラ化学のバリューチェーン・マネジメントです。

バリューチェーンの概要



※購買管理規程においてグリーン調達を定め、原料調達基準に基づいて原料を調達しております。

ステークホルダーエンゲージメント

フタムラ化学では、企業情報を正しく開示することに努め、広く社会との円滑なコミュニケーションを行います。毎年定期的にCSRレポートを発行しており、各事業年度の環境配慮に関する取り組み状況を、継続的に報告することを方針としています。

実施したステークホルダーエンゲージメントの概要



リスクマネジメント

企業を取り巻く環境は日々変化しており、どんな企業にも不測の事態が起こる可能性があります。社会から信頼される企業として、不測の事態に直面した場合でも事業を継続しているよう、事業活動に伴うあらゆるリスクに対する未然予防と、万一発生した場合の損失、社会への影響の最小化に努めてまいります。

リスクの特定、評価及び対応方法 全社的な位置づけ

- 主管部門がリスクを特定、評価し、評価結果に基づいて対策を行っております。
- リスクが顕在化する際には、社長を本部長とする対策本部会議を設置し対処しております。
- 重要な案件は、経営会議または取締役会で審議・決裁となります。
- 実施した結果は実績報告会、対策本部会議などで報告されます。

| 安全環境などに関わるリスクと主管部門一覧 | | | |
|----------------------|----------------------------------|------------|-----------|
| 危機管理上のリスク | | 全社(本社) | 工場 |
| 製品事故・製造物責任 | 製品事故・クレーム | 安全環境部 | 品質管理部門 |
| | 製品の規制・法令への準拠 | 安全環境部 | 品質管理部門 |
| 事業活動に伴う事故・災害 | 基幹システム関連事故 | 情報システムG | — |
| | 労災・交通事故など従業員の人身事故 | 安全環境部 | 総務・安全環境部門 |
| | 債権関連事故 | 業務部 | — |
| | 個人情報漏洩 | 情報システムG | 総務部門 |
| | 営業秘密の漏洩 | 開発知財部 | — |
| | 火災・爆発による事故・災害 | 安全環境部 | 生産・安全環境部門 |
| | 労働安全衛生法、消防法などへの準拠 | 安全環境部 | 総務・安全環境部門 |
| 誹謗・中傷・その他犯罪被害 | 社内システムへのサイバーテロ、不正アクセス、個人・社内情報漏洩 | 情報システムG | — |
| | 対企業暴力(脅迫、誘拐、強盗など) | 総務人事部 | 総務部門 |
| 反社会的勢力との関係 | 反社会的勢力からの不当要求、取引先と反社会的勢力との取引 | 総務人事部 | 総務部門 |
| 自然災害 | 地震、風水害、落雷などによるお客様および会社資産の損害、人身事故 | 安全環境部 | 総務・安全環境部門 |
| 外部発注における法令違反 | 下請法違反、取引先との不正取引 | 調達部、総務人事部 | 資材・総務部門 |
| 知的財産権侵害 | 特許・商標・著作権侵害 | 開発知財部 | 開発部門 |
| 環境問題 | 環境関連法令基準違反、産業廃棄物処理違反 | 安全環境部 | 環境部門 |
| 海外事業活動におけるリスク | 製品事故など | 担当営業部門 | 生産部門 |
| | 為替リスク | G B 統括、財務G | — |
| | 移転価格などの税務リスク | G B 統括 | — |

| 具体的な取り組み | | | |
|----------|--------------|---------------------|---------------|
| リスク | 新型コロナウイルス感染症 | 自然災害 | 気候変動 |
| 事業への影響 | 操業停止 | 工場の損傷 | 事業拠点の重大な損害 |
| 対策 | 感染防止対策 | 非常備蓄ほか/余裕在庫、在庫の分散配置 | 温室効果ガス削減/燃料転換 |

コンプライアンス憲章

経営理念・社是に則った活動をし、関係法令を遵守することにより恒久的な発展を目指します。

- 法令遵守**
国内外の法令、会社の規則を遵守し、健全な社会の一員として行動します。
- 安全な商品の提供**
安全な品質で、安心して使用されるものを、安定的に供給します。
- 公正な競争**
国内外の事業活動において、自由で公正な競争と誠実な職務に努めます。
- 節度ある行動**
社内外を問わず、業務を遂行するにあたり「公私のけじめ」を厳格にし、常に節度を持った関係を保ちます。
- 企業情報の提供**
企業情報を正しく開示することに努め、広く社会との円滑なコミュニケーションを行います。
- 地域社会との交流**
地域社会の一員として、地域との交流を深め、社会活動への参加などを通じて広く社会貢献に努めます。
- 環境問題への取り組み**
安全の確保と地域環境の保全に自主的、積極的に取り組みます。
- 人権の尊重**
人権を尊重し、健康で明るく働きやすい職場を作ります。
- 海外進出先での経営**
国際ルールや世界の各地域における法律、規制慣習を遵守します。
- 適切な情報開示**
知的財産や個人情報の価値を認識し、適正な管理を実行します。

Company Profile

[企業情報]

会社概要

商号 フタムラ化学株式会社

本社所在地 〒450-0002
名古屋市千川区名駅二丁目29番16号

設立 昭和25年10月

代表取締役 長江泰雄

資本金 5億円

売上高 689億円

売上構成比 フィルム事業：87.2%
活性炭事業：9.9%
その他事業：2.9%

従業員数 1,302名

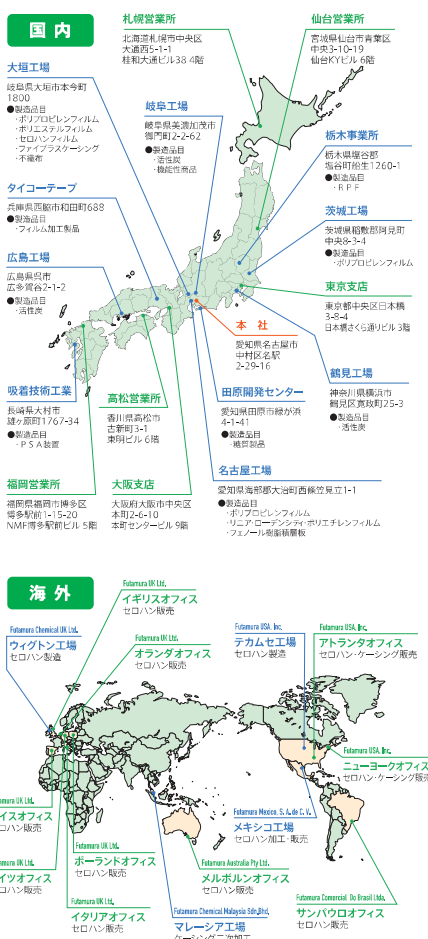
平均年齢 40歳

営業品目 ポリプロピレンフィルム
リニアオーデシシティポリエチレンフィルム
ポリエステルフィルム
セロハンフィルム
ファイブラスケーシング
不織布
活性炭・機能性商品
フェノール樹脂積層板
糖質製品
アグリ製品
RPF

報告期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日
一部直近の活動も含んでいます。

後発事項 令和3年4月1日ツルミコールを吸収合併し、
鶴見工場とする。

拠点



Celebrating our 70th Anniversary 設立70周年を 迎えて



弊社は終戦間もない昭和25年に設立され、祖国再建を旗頭に戦後の復興期とそれに続く高度成長期を通じて、事業領域を拡大してきました。

貢献であると考えてまいりました。

会社を取り巻く環境や会社に対する考え方は大きく変わってきましたが、弊社は、「社員の生活の安定を第一に考える」という設立時のポリシーを守り、会社は社会の公器であり、社員が安心して働くことができる場を提供することが弊社の存在意義であり、社会への最大の

このポリシーは日本だけでなくイギリス、アメリカ、メキシコを始めとした世界中のフタムラグループで「One Futamura」、「Futamura Family」という合言葉で共有されています。これからも社会は目まぐるしく変化していくものと思いますが、フタムラグループは「社員の生活の安定を第一に考える」を不変のポリシーとして堅持することで社会に貢献していきたいと考えています。

お客様からの信頼を得るため、フタムラ化学の事業活動、環境配慮の取り組み状況などをまとめました。
報告対象期間 / 報告対象事業場は、特記しない限り環境負荷の大きいフタムラ化学の主要な6工場（名古屋工場、大垣工場、岐阜工場、茨城工場、広島工場、鶴見工場）、田原開発センターの合計7事業場としております。
参考ガイドライン / 本報告書は、「環境報告ガイドライン2018年版（環境省）」を参考に作成しました。

発行/令和3年11月
企画編集/フタムラ化学株式会社
〒450-0002 名古屋市千川区名駅二丁目29番16号
TEL (052) 565-1212 FAX (052) 565-1159
E-mail: kankyo_info@futamura.co.jp

この報告書に関するお問い合わせ
フタムラ化学株式会社 本社 社会環境部
TEL (052) 562-4125 FAX (052) 565-1159
E-mail: kankyo_info@futamura.co.jp



この製品は、
FSC® 認証材、再生資源
およびその他の管理原材料から
作られています。

SUST DEV

